

安全で快適な宇治橋通りをめざす会 ニュース

交通社会実験を実施しました。

平成16年5月19日(水)~26日の8日間、宇治橋通りにおいて、交通社会実験を実施しました。第4回「めざす会」で議論された内容を基に、歩行空間の確保 通過車両の抑制・自動車の速度抑制 荷捌きスペースの設置 二輪車の一方通行 地上機器の設置 交差点における安全対策といった実験を行い、効果や影響を実際に体験してみました。効果や影響については、アンケート調査や走行速度調査等の調査により検証しました。また、実験期間中はオープンハウスを開催し、これまでの「めざす会」の活動や実験の内容について広報を行いました。

歩行空間の確保

白線やポストコーンを利用して、両側に歩行空間を確保しました。



地上機器の設置

電線類を地中化した時に必要となる地上機器を設置して、その影響を検証しました。



通過車両の抑制・自動車の速度抑制

ハンプ(路面の盛り上がり)を設置したり、車道をクランク状にしたり、狭さく部を設けたりして検証しました。また、ポストコーンを設置した区間と設置していない区間を設け、その効果と影響も検証しました。



ハンプ



クランク(コーンあり)



狭さく(コーンあり)

荷捌きスペースの設置

荷捌きスペースの必要性を検証するために、荷捌きスペースを設置する期間(5/19~21)と、設置しない期間(5/20~26)を設けました。

二輪車の一方通行

宇治橋通りで二輪車を一方通行にして、効果と影響を検証しました。

交差点における安全対策

交差点2箇所自発光鏡を設置しました。これは、実験期間以降も引き続き設置しています。

ご理解とご協力、どうもありがとうございます!



実

験

結

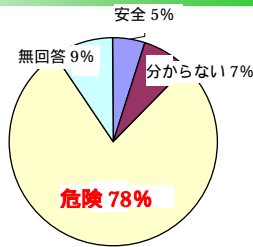
果

アンケートは、約 2800 枚配布し、827 枚の回答がありました。（回収率約 30%）

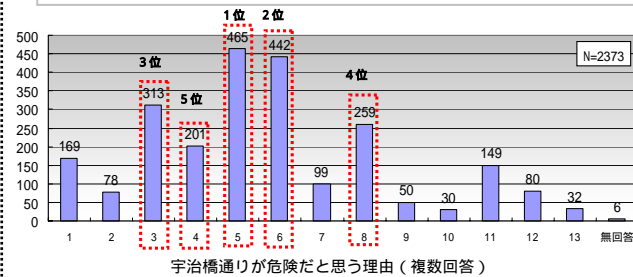
宇治橋通りは危険！

実験前の宇治橋通りの安全性についてアンケート回答者全体の約 80%が“危険である”というイメージを持っていました。

危険である理由は“自動車・バイク・自転車・歩行者が混在”が最も多く（465件）、次いで“路上駐車が多い”（442件）でした。



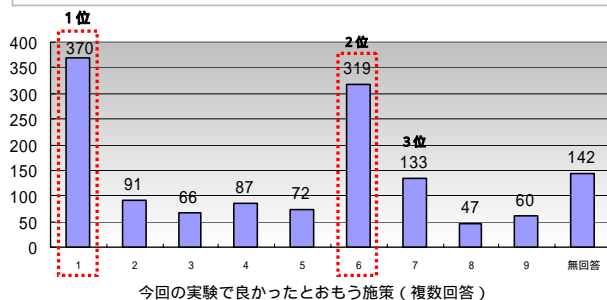
1. 電柱・照明灯の位置
2. 路上看板
3. 車が多い
4. 車のスピードが速い
5. 自動車・バイク・自転車・歩行者が混在
6. 路上駐車が多い
7. 運社のマナー
8. バイクの対面通行
9. 道路標識
10. 通りが坂
11. 側溝
12. 夜道
13. その他



歩行空間の確保は皆の思い！

良かったと思う施策（実験）は？という問では、“歩行空間の確保”が最も多く 370 件でした。

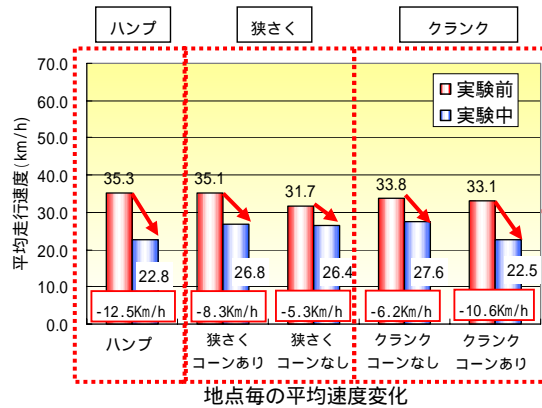
1. 歩行空間の確保
2. ポストコーンの設置
3. ハンプの設置
4. 狭く区間
5. クランク区間
6. 二輪車の一方通行化
7. 荷捌きスペース
8. 荷捌きスペースなし
9. その他



支持できるのはハンプ・狭さくだ！

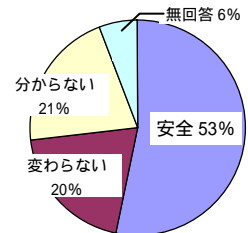
走行速度調査の結果、速度抑制効果が高かったのは、ハンプ、クランク（ポストコーンあり）、狭さく（ポストコーンあり）の順番でした。

また、歩行者の方から“クランクは怖い”といった意見が多数ありました。



バイクの一方通行化は安全のため必要！

良かったと思う施策（実験）は？という問では、“二輪車の一方通行化”は“歩行空間の確保”に次いで 319 件でした。（左図参照）また、“バイクの一方通行により安全になった”と回答した人は全体の 53% でした。

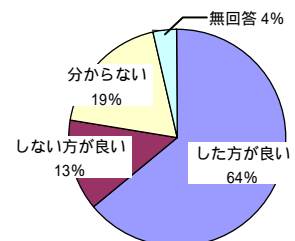


荷捌きスペースは必要！？

荷捌きスペースは必要だと思いますか？の問では、全体の 56% の人が必要だと回答した。また、店主さんへのアンケート調査によると実験中の荷捌きスペースは“欲しい場所になかった”“数がすくない”と回答した人が半数以上ありました。

電線類の地中化に賛成多数！

全体の 64% の人が“電線類を地中化した方がよい”と回答しました。また、“狭い道路に地上機器の設置は危険”という意見もありました。



事務局 京都府山城北土木事務所道路計画室
 〒611-0021 京都府田辺市田辺明田 1
 TEL : 0774-62-0528
 FAX : 0774-25-2849